

## 村治佳織 プロフィール



東京都生まれ。3歳より父・村治昇にギターの手ほどきを受け、10歳より福田進一氏に師事。1989年ジュニア・ギター・コンテストにおいて最優秀賞を受賞。同年及び1991年、学生ギター・コンクール優勝。1992年ブローウェル国際ギター・コンクール及び東京国際ギター・コンクールで優勝を果たす。

1993年津田ホールにてデビュー・リサイタルを開催。1994年には日本フィルハーモニー交響楽団と共演し、協奏曲デビューを果たす。1995年イタリア国立放送交響楽団の日本ツアーにソリストとして同行、全国各地で公演し高い評価を得る。同年第5回出光音楽賞を最年少で受賞。さらに1996年村松賞受賞。同年5月、イタリア本国(トリノ)において共演、ヨーロッパ・デビューを飾る。このコンサートはヨーロッパ全土にテレビ放映された。

1997年よりパリのエコール・ノルマルに留学、アルベルト・ボンセに師事。1999年に帰国、本格的なソロ活動を開始。NHK交響楽団、日本フィル、読売日響、名古屋フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢等の主要オーケストラとの共演も重ね、幅広い層からの支持を受けている。2000年ドイツのフォーグラウ・カルテットとの日本ツアーを行い、新たなる室内楽の分野に取り組む。

2002年5月ロドリゴ生誕100周年を記念し、ロドリゴ室内管弦楽団と、2003年2月再びフォーグラウ・カルテットと日本ツアーを、同年5月韓国ソウルでのリサイタル、6月2度目の顔合わせとなるイタリア国立放送交響楽団(指揮:ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス)とトリノ、フィレンツェでの公演に続き、日本ツアーを行う。現在最も注目されているギタリスト。